

# 長野県産米生産・流通・消費等検討会議（第4回） 次第

日時：令和8年2月10日（火） 10:00～11:00  
場所：ホテル国際21 1階「葵」

## 1 開会

## 2 知事あいさつ

## 3 意見交換

（1）これまでの検討概要について

（2）長野県産米の安定生産・供給と適正な価格形成に向けた官民連携の取組方針の確認について

（3）長野県産米の安定生産・供給と適正な価格形成に向けた共同宣言について

- ・共同宣言
- ・私のアクション宣言

（4）知事コメント

## 4 閉会

## 5 写真撮影

# 長野県産米生産・流通・消費等検討会議 これまでの振り返り

## 第1回検討会議(R7.7.31)

### 【会議を踏まえた取組の柱】

- 県産米が県内で売れる仕組みづくり(地産地消強化)
- 生産者が安心して生産できる支援

### 対応方針

- ① **商業的流通の骨太化**  
〔集荷・卸売を通じた小売等への流通  
・生産と消費との直接取引〕
- ② **地域内流通の定着化**  
〔直売所を拠点とした取引  
(交流等によるつながり)〕

## 第2回検討会議(R7.9.26)

### 【Pointになる意見】

- ・「県産米の魅力発信は、関係者が連携協力して行うべき」(全者)
- ・「生産・流通に関する正確な情報の発信・共有をしてほしい」(小売業、消費者団体)
- ・「小売店舗での年間需要量は概ね見通せる。それを生産から集荷、卸の各段階で予め情報共有する仕組みがあれば、欠品、品不足は回避できる」(小売業)
- ・「消費者は、その価格(高さ)の“理由”が伝われば理解する」(消費者団体、小売業)
- ・「中長期的な契約で生産者から直接入手ができないか」(飲食業)

## 第3回検討会議(R7.11.28)

### 長野県産米生産・流通・消費等検討会議 「対応方針」中間とりまとめ(案)

#### 《対策の柱1》 商業的広域流通と地域内流通が有効に共存する安心の流通体制の構築

##### ○ 効率的な米サプライチェーンの構築【重点】

コスト指標等構造の明確化、流通の効率的な運用、販売情報の集約と発信

##### ○ 産地と実需(中食業等)がつながる取引の促進【重点】

生産と実需のマッチング、複数年契約の促進、直売所を核とした県内流通の取組

##### ○ 県産米の優位性(魅力や価値)による

販路拡大

県外・海外等に対する販路開拓、ブランド発信、商品力強化

#### 《対策の柱2》 安定した消費と利用拡大のための取組の強化

##### ○ 農業体験の推進

体験メニュー整備、食育の推進

##### ○ しあわせバイ信州の取組強化

地産地消の推進、広報パートナーを介した発信・共有

##### ○ 情報プラットフォームを介した情報共有・発信

情報共有Webサイトの活用、直売所の交流拠点活用、オーナー制度拡大

#### 《対策の柱3》 県内で安心して米づくりができる支援の強化

##### ○ 地域計画に基づく農地の集積集約化の促進

農地の効率的利用及び経営規模拡大、スマート機械導入、集荷施設の効率的利用

##### ○ 県内への安定出荷・拡大

県内実需(中食業等)とのマッチング、複数年契約の実施、直接取引の実施、省力化・低コスト化

##### ○ 高品質・効率生産の取組

高温対策及び高温耐性品種の作付・実証、ブランド力向上、直播栽培技術の導入・実施

##### ○ 労働力確保・担い手育成

農業高校・農業大学校等との連携、体験・バイト受入体制づくり、農業現場の情報発信

### 共同宣言

### ＜対応方針について異論なし＞

#### 【Pointになる意見】

##### ＜量について＞

- ・経営判断に役立つので、会議を継続してほしい
- ・入出荷の見通しのためにも、正確な情報が必要

##### ＜価格について＞

- ・情報プラットフォームは、価格の安定にもつながる
- ・コスト指標に期待している
- ・輸送のコストの面からも、地産地消が重要

# 長野県産米の安定生産・供給と適正な価格形成に向けた官民連携の取組方針

長野県産米生産・流通・消費等検討会議

目指す姿

## 生産・流通・消費 “三方よし”の米改革

- 県内の消費必要量(9万トン)に高品質な県産米を確実に届けます
- 高品質な県産米の強みを活かし、県外や海外へも継続的に届けます
- コストの可視化や作業・業務の効率化により、消費者に納得感があり、生産者が将来に希望を持てる価格を実現します

### 1 《流通》 商的広域流通と地域内流通が有効に共存する安心の流通体制の構築

#### 👤 流通業務の共同化・集約化を進め、低コスト化を実現します【重点】

- 共同輸送・共同保管による低コスト流通の確立
- 集荷・共同利用施設の再編整備

#### 👤 産地と実需者のつながりを強化し、県産米の長期安定供給と価格の安定を実現します【重点】

- 生産者と中食事業者等の商談会の開催
- ECサイト等を活用した産直販売の拡大
- 直売所を拠点とした地域内消費拡大 等

### 2 《消費》 安定した消費と利用拡大のための取組の強化

#### 👤 県産品を選んで購入する“しあわせバイ信州運動”を強化します

- 地産地消で顔の見える地元産米の利用推進
- 田植え・稲刈りなどの農業体験ができる機会づくり 等

### 3 《生産》 県内で安心して米づくりができる体制の強化

#### 👤 付加価値労働生産性の向上により経営の安定化を図り、持続可能な米生産を実現します

- 農地の大規模化・集約化、スマート農業等省力化技術の導入により、生産コストを大幅に低減
- 新しい品種の開発・普及
- 全国トップクラスを譲らない品質維持・向上
- こだわりの栽培等ブランド力強化
- 多彩な商品ラインナップ 等

### 4 《共通》 生産・流通・消費に係る情報の共有・発信

#### 👤 県版コスト指標づくりでコスト構造が見える化し、納得感のある価格の形成を実現します【重点】

- プロジェクトチームによる県版コスト指標の作成・公表

#### 👤 コメ情報を一元化した新システムで安心と納得をお届けし、“三方よし”の米改革を後押しします【重点】

- 情報プラットフォーム運用
- 生産・流通情報の共有化
- 広報パートナー等によるPR情報の発信
- 優位性・価値発信 等

# 長野県産米の安定生産・供給と適正な価格形成に向けた共同宣言(案)

## 1 目的

この共同宣言は、長野県産米に携わる生産・流通・消費の関係者が連携し、県産米の安定生産と安定供給、そして適正な価格形成を実現することを目的とします。

なお、この共同宣言に賛同する者は、「私のアクション宣言」をするものとします。

## 2 連携及び取組

この共同宣言の目的を達成するため、次に掲げる項目について、県産米に係る生産から流通、消費の関係者が相互に連携し、それぞれが意識を持って行動をします。

県民の皆さまは、県産米を選んで食べていただきますようお願いいたします。

### 【目指す姿】 生産・流通・消費“三方良し”の米改革

- 県内の消費必要量(9万トン)に高品質な県産米を確実に届けます
- 高品質な県産米の強みを活かし、県外や海外へも継続的に届けます
- コストの可視化や作業・業務の効率化により、消費者に納得感があり、生産者が将来に希望を持てる価格を実現します

### 《流通の柱》 商的広域流通と地域内流通が有効に共存する安心の流通体制の構築

- 流通業務の共同化・集約化を進め、低コスト化を実現します
- 産地と実需者のつながりを強化し、県産米の長期安定供給と価格の安定を実現します

### 《消費の柱》 安定した消費と利用拡大のための取組の強化

- 県産品を選んで購入する“しあわせバイ信州運動”を強化します

### 《生産の柱》 県内で安心して米づくりができる体制の強化

- 付加価値労働生産性の向上により経営の安定化を図り、持続可能な米生産を実現します

### 《共通》 生産・流通・消費に係る情報の共有・発信

- 県版コスト指標づくりでコスト構造が見える化し、納得感のある価格の形成を実現します
- コメ情報を一元化した新システムで安心と納得をお届けし、“三方良し”の米改革を後押しします



# 長野県産米の安定生産・供給と適正な価格形成に向けた共同宣言



(案)

## 1 目的

この共同宣言は、長野県産米に携わる生産・流通・消費の関係者が連携し、県産米の安定生産と安定供給、そして適正な価格形成を実現することを目的とします。

なお、この共同宣言に賛同する者は、「私のアクション宣言」をするものとします。

## 2 連携及び取組

この共同宣言の目的を達成するため、次に掲げる項目について、県産米に係る生産から流通、消費の関係者が相互に連携し、それぞれが意識を持って行動をします。

県民の皆さまは、県産米を選んで食べていただきますようお願いいたします。

### 【目指す姿】 生産・流通・消費“三方良し”の米改革

- 県内の消費必要量(9万トン)に高品質な県産米を確実に届けます
- 高品質な県産米の強みを活かし、県外や海外へも継続的に届けます
- コストの可視化や作業・業務の効率化により、消費者に納得感があり、生産者が将来に希望を持てる価格を実現します

#### 《流通の柱》 商的広域流通と地域内流通が有効に共存する安心の流通体制の構築

- 流通業務の共同化・集約化を進め、低コスト化を実現します
- 産地と実需者のつながりを強化し、県産米の長期安定供給と価格の安定を実現します

#### 《消費の柱》 安定した消費と利用拡大のための取組の強化

- 県産品を選んで購入する“しあわせバイ信州運動”を強化します

#### 《生産の柱》 県内で安心して米づくりができる体制の強化

- 付加価値労働生産性の向上により経営の安定化を図り、持続可能な米生産を実現します

#### 《共通》 生産・流通・消費に係る情報の共有・発信

- 県版コスト指標づくりでコスト構造を見える化し、納得感のある価格の形成を実現します
- コメ情報を一元化した新システムで安心と納得をお届けし、“三方良し”の米改革を後押しします

令和8年2月10日

### 長野県産米生産・流通・消費等検討会議の構成メンバー

- |          |                   |                 |
|----------|-------------------|-----------------|
| (生産)     | 信州水田農業経営者会議       | 長野県農業経営者協会      |
| (流通)     | 全国農業協同組合連合会長野県本部  | 長野県食糧集荷協同組合     |
|          | ベイクックコーポレーション(株)  | (株)マイパール長野      |
|          | イオンリテール(株)中部カンパニー | (株)長野県A・コープ     |
|          | (株)デリシア           | 長野県米穀小売振興会      |
|          |                   | (株)デリックちくま      |
| (消費)     | 長野県消費者団体連絡協議会     |                 |
| (行政)     | 長野県               |                 |
| (オブザーバー) | 一般社団法人長野県商工会議所連合会 | 長野県商工会連合会       |
|          | 長野県農業協同組合中央会      | 農林水産省関東農政局長野県拠点 |

## 行動理念

- 県民ニーズや市場の動向に適応した生産量を確保し、安定供給に向けた取組をけん引します
- 高品質・高付加価値化への技術支援により、県外や海外への販路拡大を後押しします
- 生産者と消費者の双方が納得できる価格の実現を目指します



新たに取り組みます



さらにしっかり

### ■ 情報発信・共有の強化

- ◆ 情報プラットフォームを早急に構築して、消費者や実需者との情報の共有化を図ります
- ◆ 価格の理由、コストの構造などの基準となるコスト指標を作成します
- ◆ 県広報パートナーや、メディアを活用して分かりやすく、親しみが持てる発信をします

### ■ 産地とのつながり強化

- ◆ 商談会の開催やECサイト等の活用により、産地と実需者・消費者のつながりを強くします

### ■ 流通の効率化の支援

- ◆ 効率的な流通を構築するため、共同施設の再編・集約化や業務の共同化などを支援します

- オーナー制度や農作業体験などの推進により、消費者と産地が直接触れ合う場を増やします
- 直売所を拠点とした交流を通じ、生産者と消費者の相互理解を深めます
- 地域農業をけん引する経営体の法人化と、食品産業等の企業や多様な人材の農業参入を促進します

